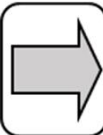


香川県内経済情勢報告






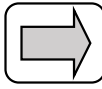
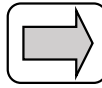

令和 8 年 1 月
財務省 四国 財務局

香川県内経済情勢報告

	令和7年10月判断	令和8年1月判断	総括判断の要点	10月判断との比較
総括判断	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	<p>個人消費は、物価上昇の影響がみられるものの、百貨店・スーパーが堅調となっているほか、観光も回復していることから、全体としては緩やかに持ち直している。</p> <p>生産活動は、食料品が横ばいの状況にあるものの、化学、輸送機械が持ち直しつつあることから、全体としては緩やかに持ち直しつつある。</p> <p>雇用情勢は、持ち直しの動きに一服感がみられる。</p>	 (5期連続据え置き)

〔先行き〕

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかに持ち直していくことが期待される。ただし、今後の物価動向、米国の通商政策、金融資本市場の変動等の影響に注意する必要がある。

項目	令和7年10月判断	令和8年1月判断	10月判断との比較
個人消費	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	
生産活動	緩やかに持ち直しつつある	緩やかに持ち直しつつある	
雇用情勢	持ち直している	持ち直しの動きに一服感がみられる	
公共事業	前年度を下回っている	前年度を下回っている	
住宅建設	前年を下回っている	前年を下回っている	
設備投資	7年度は前年度を上回る見込み	7年度は前年度を上回る見込み	

※ 8年1月判断は、前回7年10月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

個人消費

個人消費

緩やかに持ち直している

(5期連続据え置き)

- 百貨店・スーパーは、飲食料品に動きがみられることから、全体としては堅調となっている。
- コンビニエンスストアは、米飯類やファーストフードに動きがみられることから、全体としては堅調となっている。

〔主なヒアリング結果〕

「百貨店・スーパー」

- 米を中心に商品価格が上昇している一方で、卵や主食など必需品の需要は底堅く推移している。

- 10月中旬まで残暑が続き、秋物衣料・冬物衣料共に、動き出しは低調。

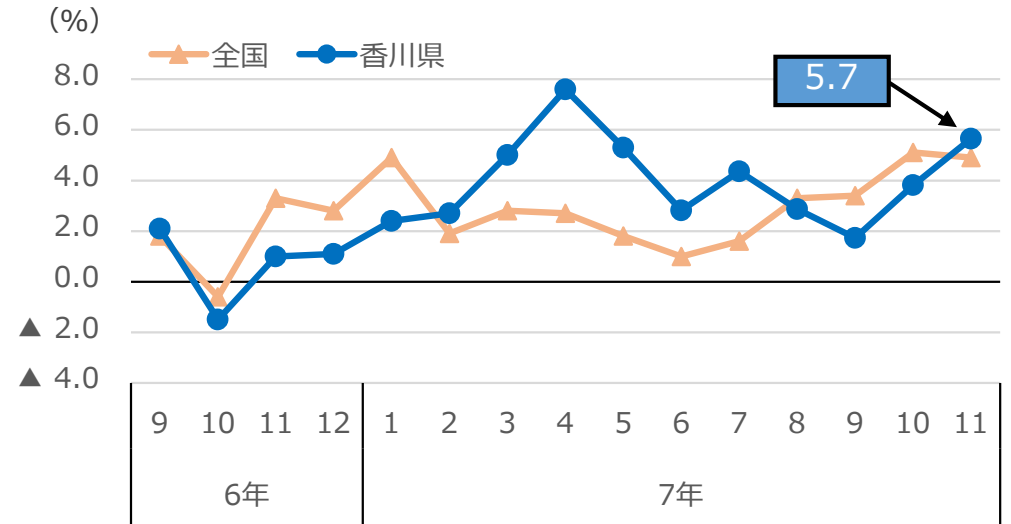
「コンビニエンスストア」

- 品揃え強化や販売促進の効果などから、おにぎりやパン類の売行きがよい。

- ホットスナックが新商品・定番商品ともに好調であり、ファーストフードの売行きが好調。

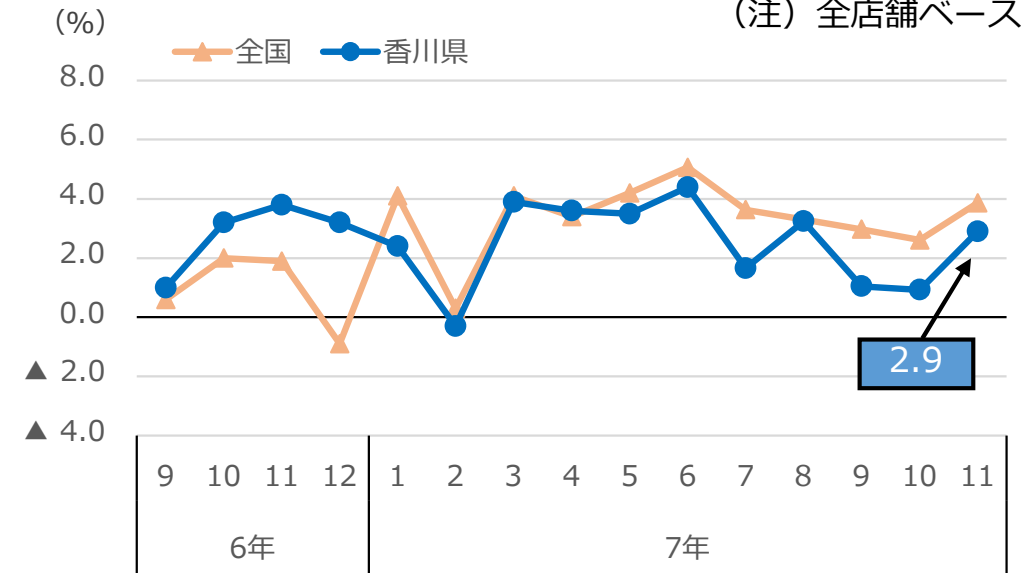
〔百貨店・スーパー販売額（前年同月比）〕

(注) 全店舗ベース



〔コンビニエンスストア販売額（前年同月比）〕

(注) 全店舗ベース



【出所】 経済産業省、四国経済産業局

個人消費

- ドラッグストアは、食料品等に動きがみられることから、全体としては順調となっている。
- 家電大型専門店は、パソコン等に動きがみられることから、全体としては堅調となっている。
- ホームセンターは、防災用品の動きが鈍いことから、全体としては弱含んでいる。
- 乗用車の新車登録・届出台数は、小型車及び軽乗用車は前年を上回っているものの、普通車は前年を下回っていることから、全体としては前年を下回っている。
- 観光は、各地でのイベントの効果などにより観光客が増加していることから、回復している。
- 旅行は、国内旅行、海外旅行ともに緩やかに持ち直しつつある。

〔主なヒアリング結果〕

「家電大型専門店」

- パソコンは、一部OSのサポート終了による買替需要の高まりもあり、売行きが好調。

「観光」

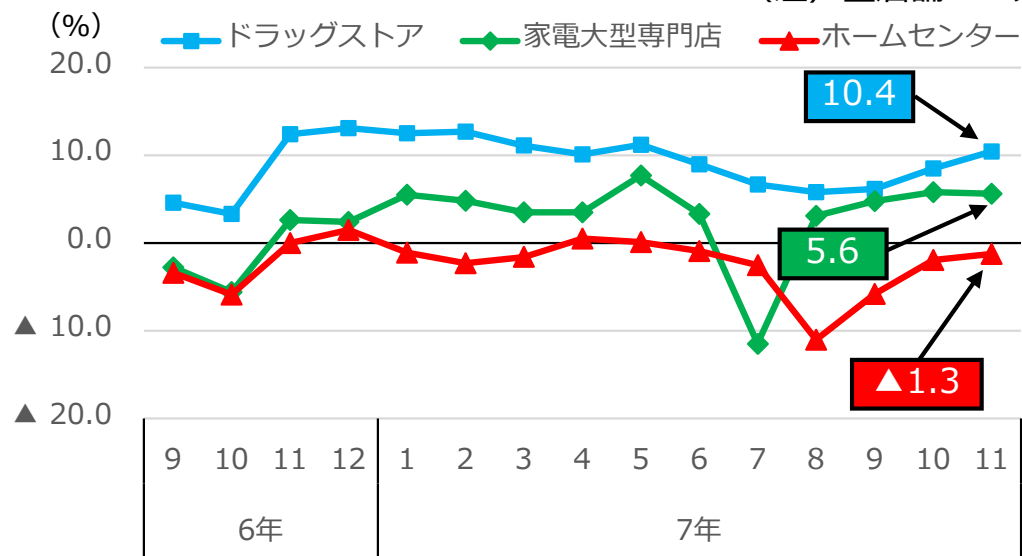
- 県立アリーナでのイベント効果のほか、瀬戸芸秋会期の開催により、他の観光地への波及効果もあった。

「旅行」

- 国内旅行は、大型テーマパークの人气が継続している。海外旅行は、アジアを中心に動きが見え始めている。

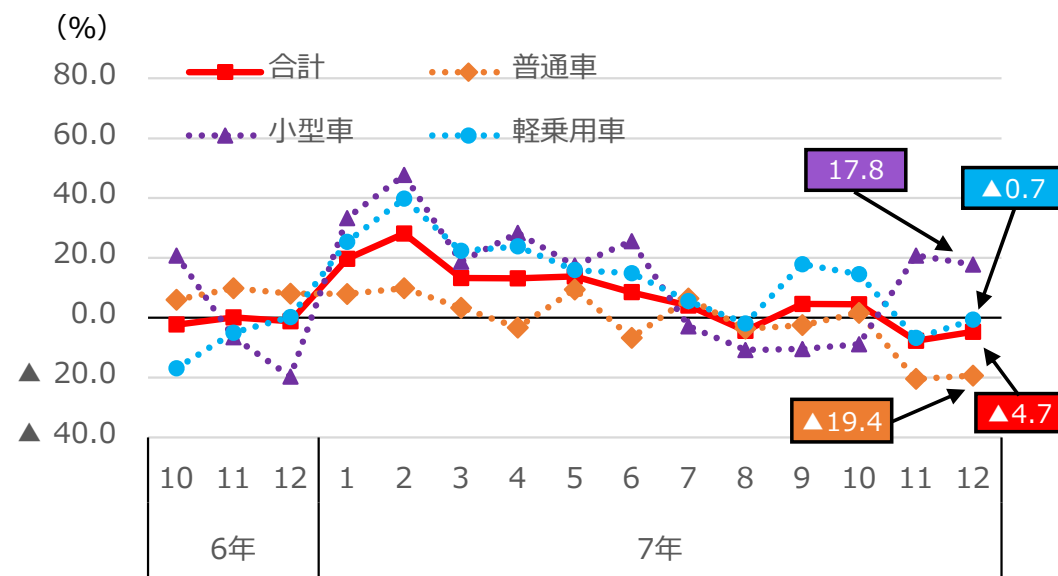
〔香川県の専門量販店販売額（前年同月比）〕

（注）全店舗ベース



【出所】 経済産業省、四国経済産業局

〔香川県の乗用車新車登録・届出台数（前年同月比）〕



【出所】 （一社）日本自動車販売協会連合会、（一社）全国軽自動車協会連合会のデータから算出

生産活動

生産活動

緩やかに持ち直しつつある

(6期連続据え置き)

- 化学は、堅調な需要を背景に、持ち直しつつある。
- 輸送機械は、一定量の受注残を抱え、高操業が続いており、持ち直しつつある。
- 電気機械は、一定の操業を維持しており、横ばいの状況にある。
- 食料品は、家庭用で動きがみられるものの、業務用の一部に弱さがみられることから、横ばいの状況にある。

〔主なヒアリング結果〕

«化学»

- 海外需要が引き続き堅調。三交代勤務により生産量増加。

«輸送機械»

- 十分な受注残を確保し、従業員数に見合った操業度を継続。

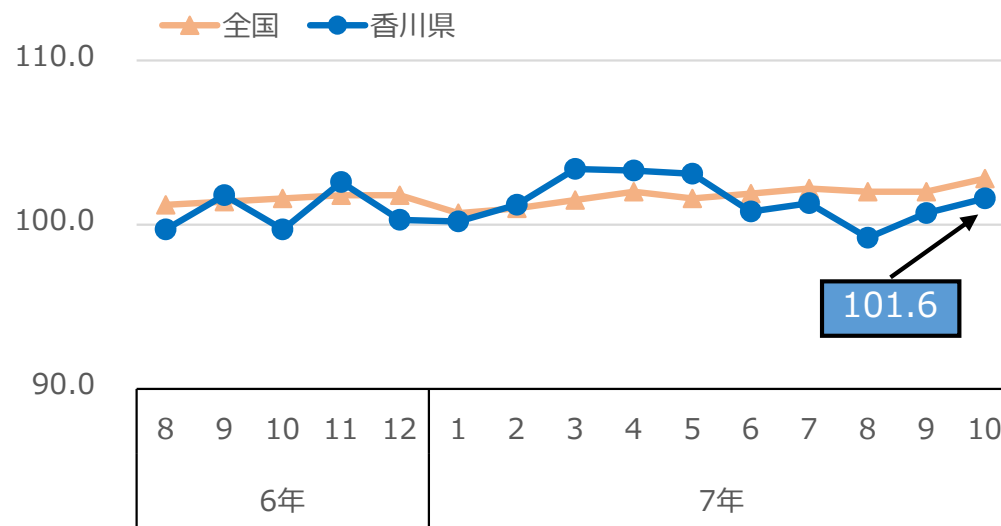
«電気機械»

- 設備向け電力機器は、大型案件受注により引き続き堅調。

«食料品»

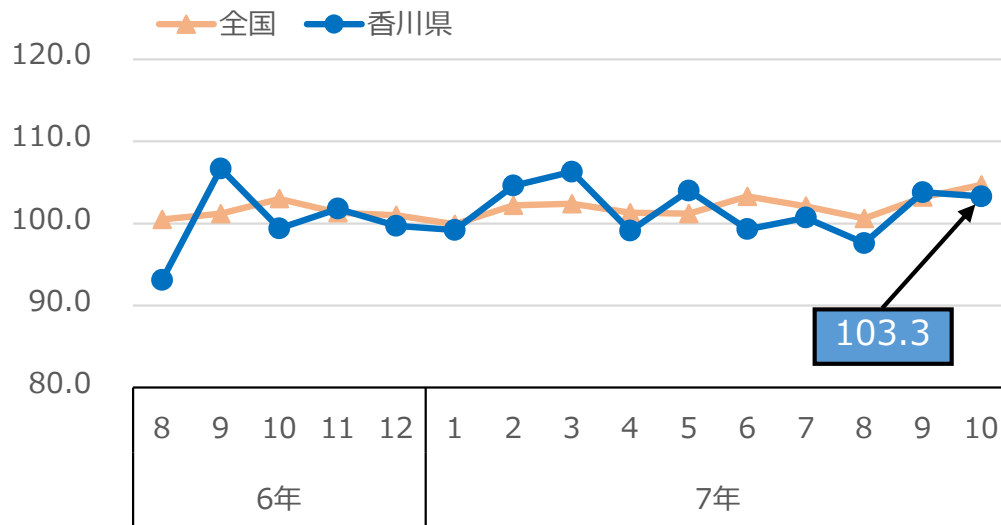
- 全体需要は好調も、業務用はコンビニやスーパーなどの大口取引の需要回復が鈍化しており生産調整を実施。

〔鉱工業生産指数（季節調整済指数、3か月移動平均）〕



(令和2年=100) 【出所】経済産業省、香川県の公表データから算出

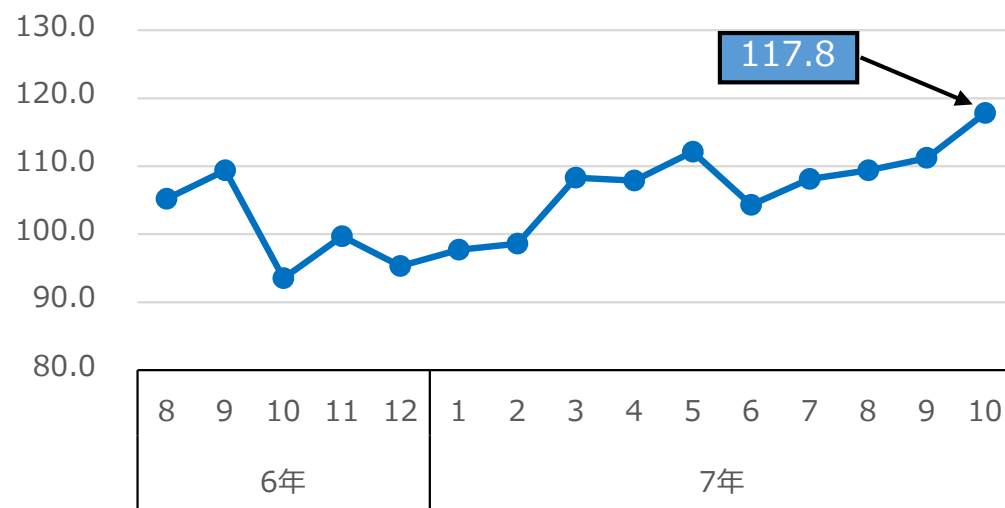
〔鉱工業生産指数（季節調整済指数、単月）〕



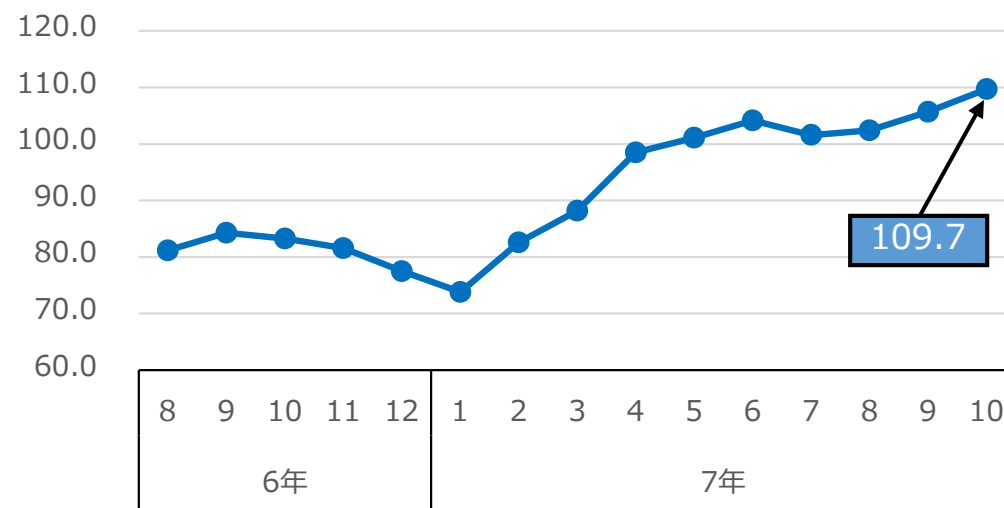
(令和2年=100) 【出所】経済産業省、香川県

生産活動

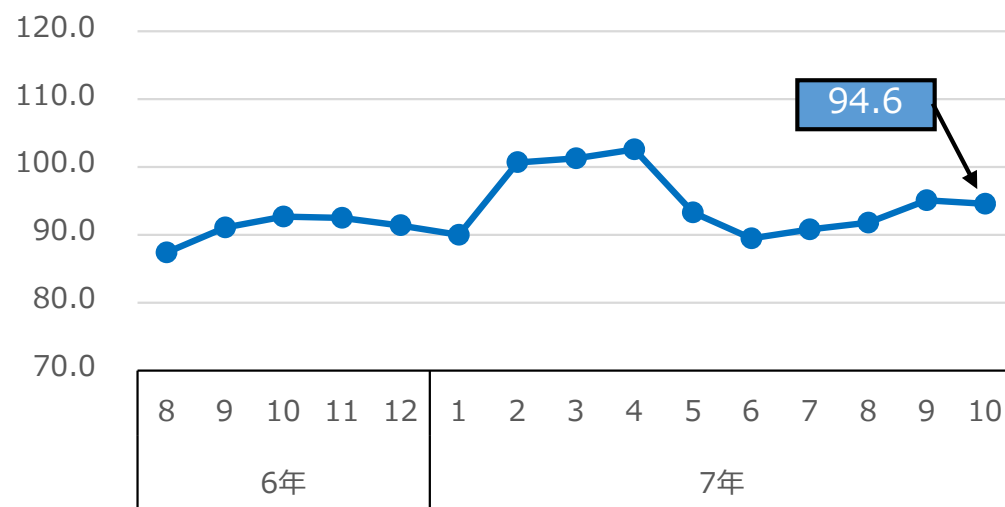
〔化学・石油石炭〕



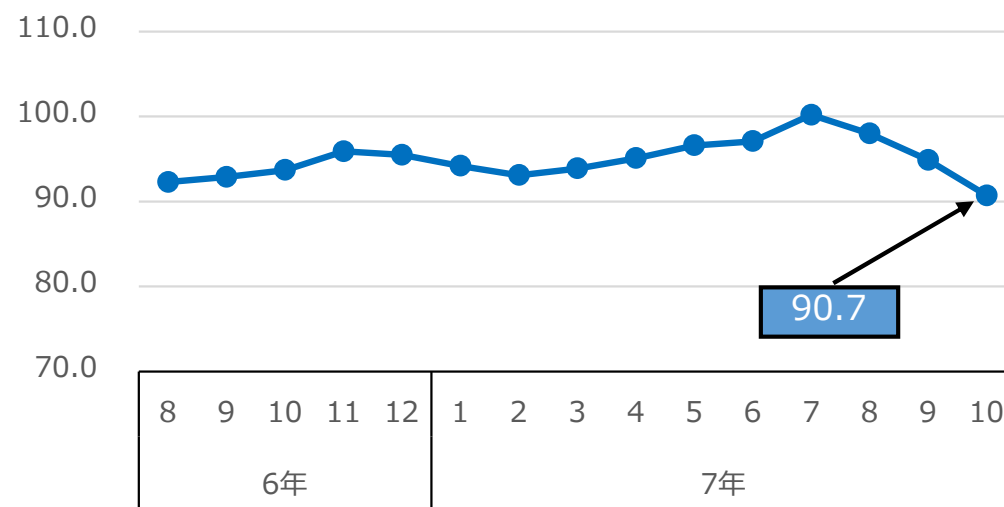
〔輸送機械〕



〔電気機械〕



〔食料品〕



(季節調整済指数、3か月移動平均、令和2年=100) 【出所】香川県の公表データから算出

雇用情勢

雇用情勢

持ち直しの動きに一服感がみられる

(22期ぶり下方修正)

- 有効求人倍率は低下している。
- 新規求人数は前年を下回っている。
- 法人企業景気予測調査の従業員数判断BSIをみると、12月末は全産業で33.7%ポイントと「不足気味」超となっており、企業の人手不足感は続いている。

〔主なヒアリング結果〕

「労働局」

- 最近の物価高による生活防衛のため、中高年層を中心に、より良い条件を求めて求職活動が長期化する動きがみられている。

- 前年より稼働日が少なかったことや求人提出時期のずれ、人員体制の見直しなどにより求人数は減少したが、企業の人手不足感は依然として緩和されていない。

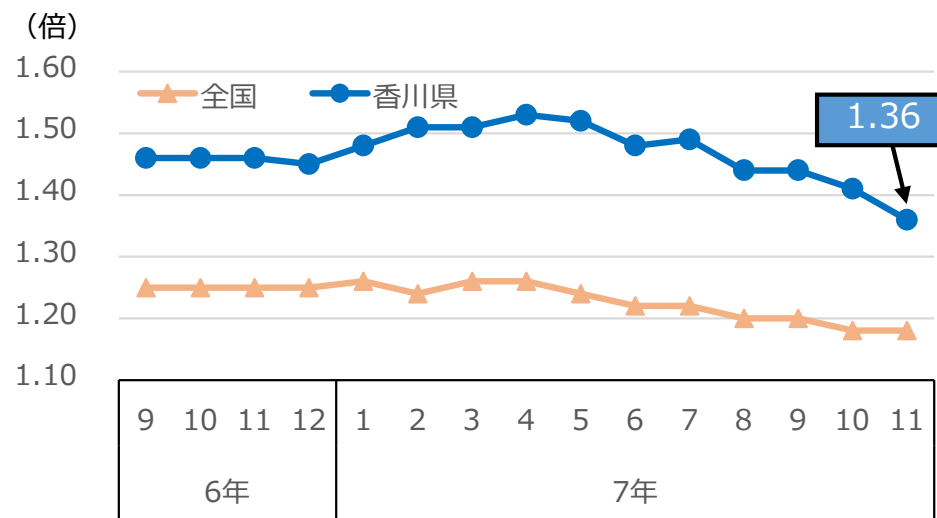
「化学」

- 営業職・研究職は人材不足が続いており、求人对策をしているが求める人材と合わないため充足できていない。

「パルプ・紙」

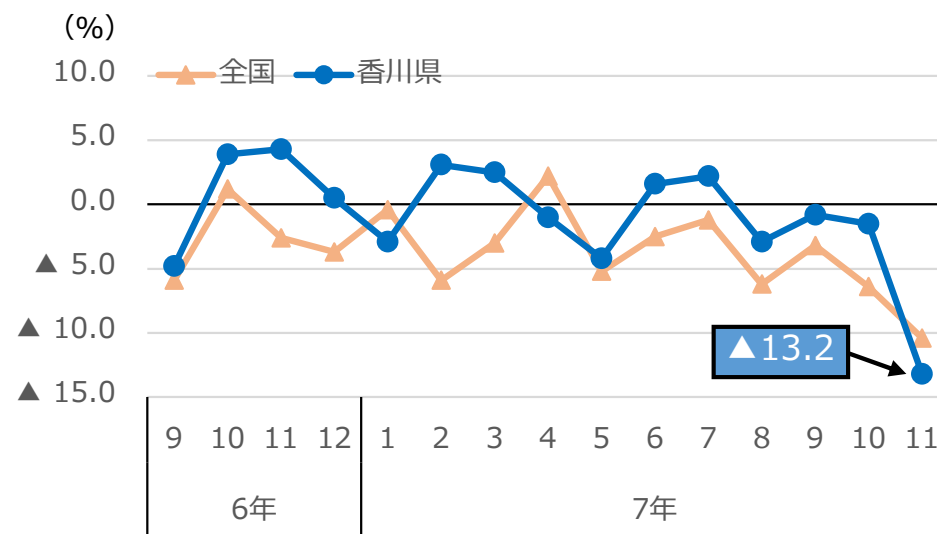
- 人手不足対策として、生産部門においては手当の支給などの雇用条件の見直しを引き続き行っている。

〔有効求人倍率（季節調整値）〕



【出所】厚生労働省

〔新規求人数（原数値、前年同月比）〕



【出所】厚生労働省の公表データから算出

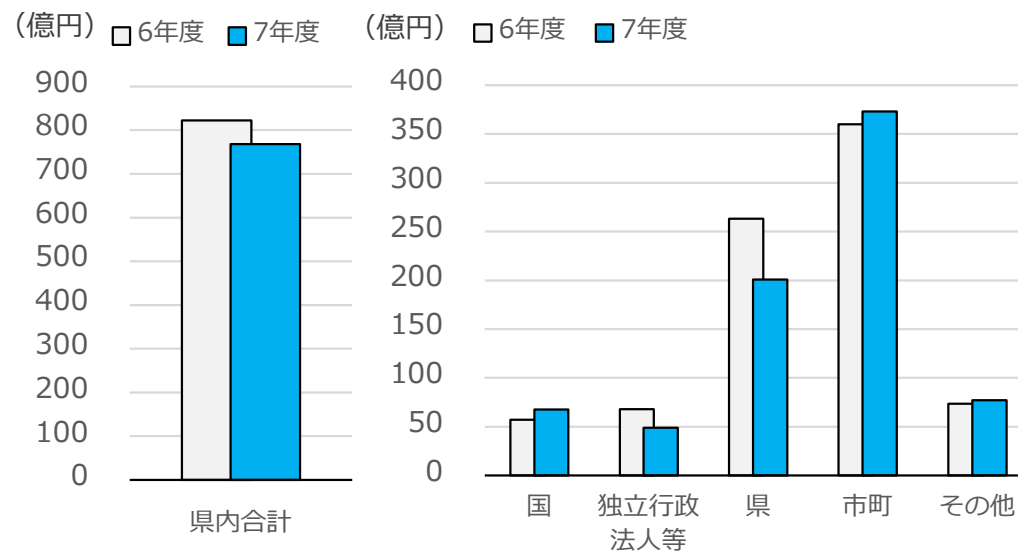
公共事業・住宅建設

公共事業

前年度を下回っている

○前払金保証請負金額でみると、国及び市町は前年度を上回っているものの、独立行政法人等及び県は前年度を下回っていることから、全体としては前年度を下回っている。

〔香川県の公共工事前払金保証請負金額（12月累計額）〕



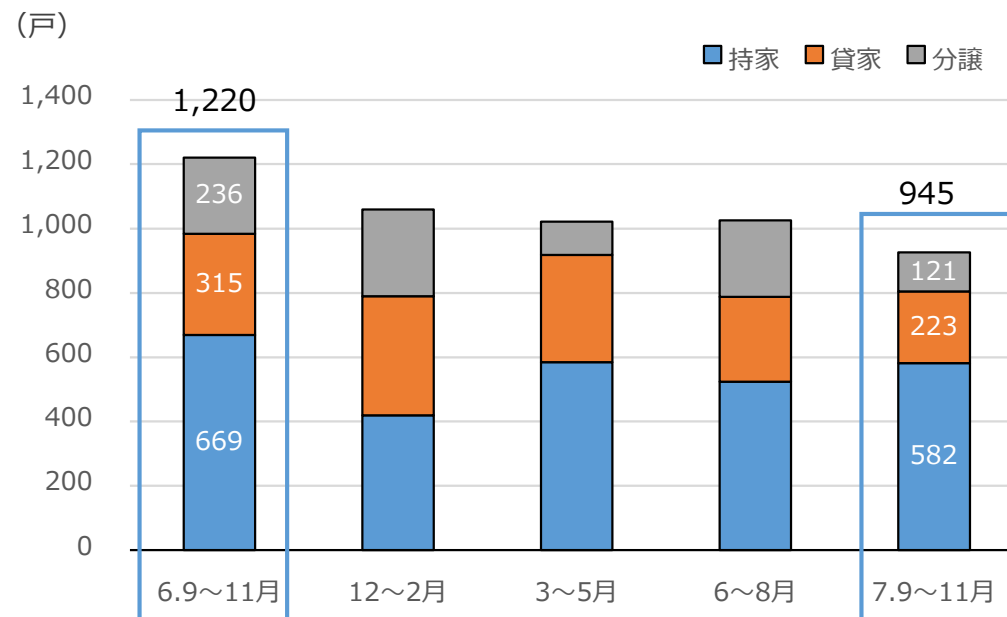
【出所】西日本建設業保証（株）等

住宅建設

前年を下回っている

○新設住宅着工戸数でみると、持家、貸家、分譲のいずれにおいても前年を下回っている。

〔香川県の新設住宅着工戸数〕



※合計は給与住宅を含む

【出所】国土交通省の公表データから算出

〔主なヒアリング結果〕

○物価高に伴う住宅価格の上昇で需要が低迷している。

設備投資 ・ (企業倒産) ・ (消費者物価)

設備投資

7年度は前年度を上回る見込み

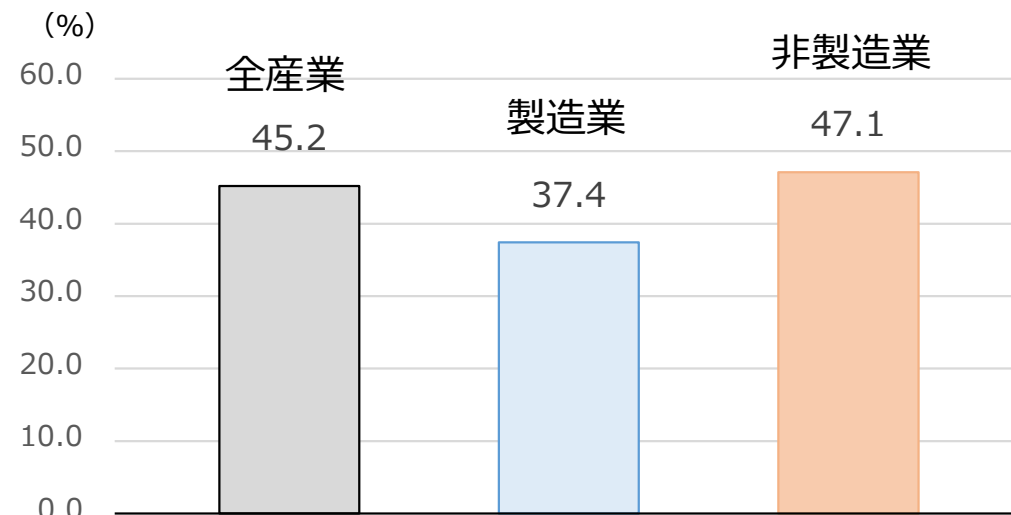
(企業倒産)

件数は前年並みとなっているものの、負債総額は前年を上回っている

(消費者物価)

前年を上回っている

〔香川県の設備投資（前年度比）〕

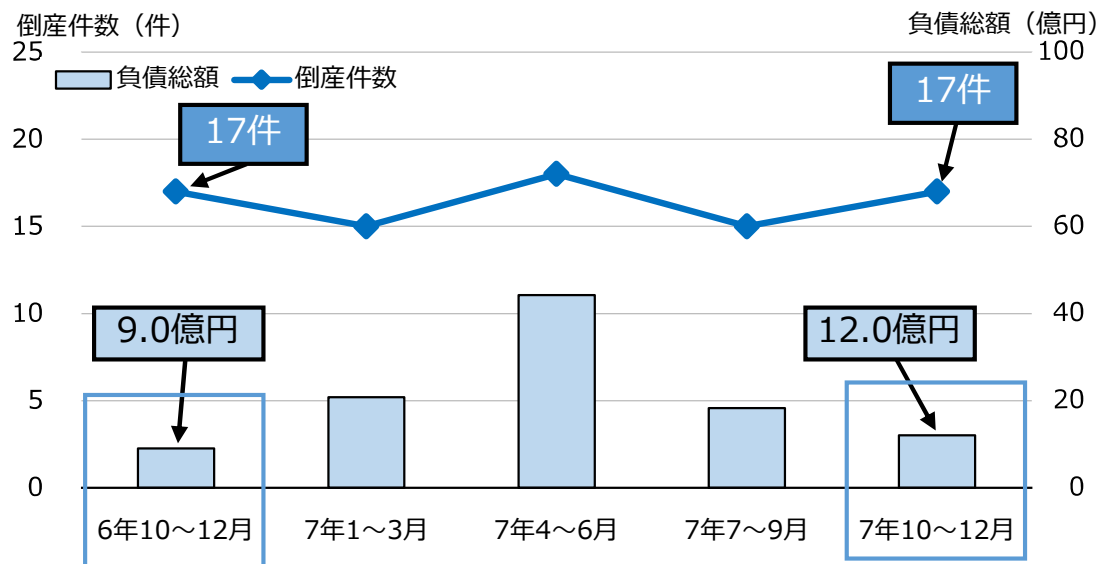


※7年10～12月期調査の結果

※ソフトウェア含む、土地除く

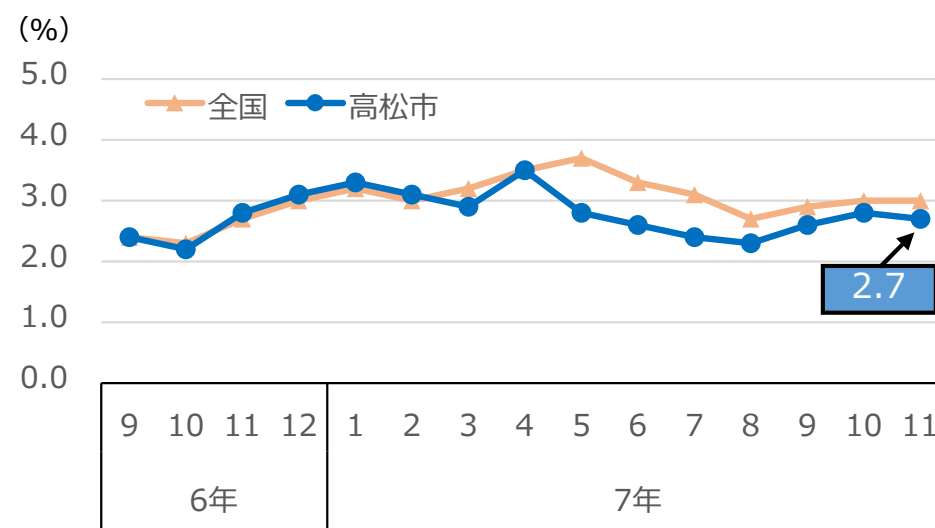
【出所】四国財務局（法人企業景気予測調査）

〔香川県の倒産件数・負債総額（負債額1,000万円以上）〕



【出所】東京商工リサーチの公表データから算出

〔消費者物価指数（生鮮食品を除く総合、前年同月比）〕



(2020年=100) 【出所】総務省

※計数は、季節調整替え、基準改定、速報の確報化、誤計数の判明等により、過去に遡って訂正される場合があるので、利用される場合は、各発表機関の直近の公表データをご確認ください。

■お問い合わせは

電話番号 087-811-7780

財務広報相談室（内線260）又は 経済調査課（内線250）へ

ホームページアドレス <https://lfb.mof.go.jp/shikoku/>